

会議等名	平成 26 年度 第 1 回 海老名市総合計画審議会
日 時	平成 27 年 2 月 19 日(木) 13:00~15:30
場 所	海老名市役所 6F 第 3 委員会室
出席者	<p>委員：鈴木委員、鶴指委員、西田委員、日吉委員、永井委員、池田委員、塩脇委員、清水委員、内野委員、三部委員、杉山委員 (欠席 今別府委員、後藤委員)</p> <p>事務局：理事兼財務部長 清水 昭、 企画財政課長 伊藤 修、 企画財政課課長補佐兼政策経営係長 告原 幸治、 企画財政課政策経営係主査 石田 恵美 企画財政課政策経営係主任主事 西尾 夕香</p> <p>傍聴者：なし</p>
概要：	<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 平成 27 年度実施計画について 海老名市第四次総合計画平成 27 年度実施計画書に基づき、事務局から説明。</p> <p>《質疑・意見等》※カッコ内は審議会後に確認等を行った内容。</p> <p>(委員) 重点事業として 12 ページに掲載されている“防犯カメラの設置”について、“通学路への防犯カメラの設置”が記載されているが、全校を対象として設置するのか。また、現在、市で設置した防犯カメラは全部で何基あるのか。</p> <p>→ 通学路については、市内全 19 小中学校を対象に 1 校当たり 2 基設置する予定である。また、公園へも犯罪抑止効果を高めるために設置する。詳細な設置個所については、専門家に相談しながら検証を行い、設置していく。また、市では緊急通報装置を設置する等により、子どもたちが犯罪に巻き込まれないような対応を行っている。現在、市で設置した防犯カメラの設置数については後日書面で回答させていただく。 (全 61 基：平成 26 年 12 月末時点)</p> <p>(委員) 重点事業として 10 ページに掲載されている“中新田保育園の増築”について、ぴよぴよ棟の受入月齢が“生後 6 か月～3 歳児”と記載されているが、“生後 6 か月～3 歳未満”ではなかったか。</p> <p>→ 確認し、後日書面で回答させていただく。(ぴよぴよ棟の受入月齢は“生後 6 か月から 3 歳児まで”で確認済)</p> <p>(委員) 重点事業として 13 ページに掲載されている“登別市でのスポーツ交流”は、武道に限定した交流なのか。“取組内容”の欄に“同一種目の鍛錬を行っている登別市の子ども達との大会や練習”とあるが、“鍛錬”と記載されていると武道を想定してしまう。</p> <p>→ 武道とは限らない。再考させていただく。(“鍛錬”とは、“厳しい訓練や修養を積んで、芸や心身を強くきたえること”とあり、武道での表現で用いられることが多い単語ではあるが、武道に限定されて用いられてはいないため、現在の表記のまま)</p>

する。)

(委員) 73 ページに掲載されている“コミュニティバスの運行”について、“上今泉ルートについて、西口に新たに整備されるバスロータリーにバス停を移設し、ルート変更等を行う”旨の記載があるが、現在の上今泉ルートは文化会館や中央図書館の前に停車し、使い勝手がいいと評判である。ルートを変更する際には利用者への十分な周知を行い、市民の意見を取り入れながら進めていただきたい。

→ ご意見として、担当課へ伝えさせていただき、市民への周知は徹底させていただく。

(委員) 最近、学校給食への異物混入がよく取り沙汰されているが、原因はわかっているのか。どのように対策を行い、業者への指導はどうなっているのか。

→ 最近、学校給食への異物混入が数回続き、教育委員会で徹底的に原因の究明に当たっている。業者からの納入にも原因があったと聞いており、業者への指導を行う等の対応を行っている。

(委員) 121 ページに掲載されている“公共施設マネジメント策定事業”に“「公共施設再編計画」策定”が記載されており、今後の総合計画にも大きく関係してくるようになると思うが、どのように関連付けていくのか。

→ 「公共施設再編計画」策定は、市としても非常に大きな課題である。今年度作成した「公共施設白書」の中で、今後 65 年間の維持管理に掛かるコストの推計を行った。今後は、この結果を基に施設のあり方を長期的な目線で検討する。「公共施設再編計画」では、65 年間の長期的な計画を策定しつつ、10 年等短期間での実行プランを策定していくことになると思うが、総合計画にもその内容を盛り込みながら進めていきたいと考えている。

(委員) 今年度末で現総合計画審議会委員の任期が切れるが、次期総合計画審議会の委員には、「公共施設白書」や「公共施設再編計画」の必要性等をしっかり勉強し、理解していただきながら進めなければならないと思う。次期総合計画の重要ポイントになってくる。市民にも理解を得ながら策定作業を進めていただきたい。

(委員) 「公共施設再編計画」は 65 年の計画になるとのことだが、なぜ 65 年なのか。

→ 国で示されている数値を参考にしている。高度経済成長時に建設されてきた公共施設を今後の人口減少社会を踏まえ、如何に維持していくかが課題である。来年度、検討に着手していく。

(委員) 70 ページに掲載されている“美しい景観の形成”について、現在海老名市では看板の規制や建物の色の規制等を行っていると思うが、農地に花を植えることで農地をキレイにすることも景観の一つと考える。105 ページに“環境保全型農業の支援”という事業もあるため、合わせて検討されては如何か。

→ 確かに、“景観”は規制するだけでなく、“どのような景観を生み出すか”も重要である。ご意見は担当課に伝えさせていただく。

(委員) 121 ページに掲載されている“諸税賦課事務”に“ご当地ナンバープレートの交付”の記載があるが、私も市長に要望をしていた。これは、恒久的に実施していく

のか、枚数を限定して実施するのか。

→ ご当地ナンバープレートは希望者に配布し、通常のプレートも残ることになる。恐らく希望者全員に配布できるかと思う。

(委員) “目標指標”について、例えば、130 ページに掲載されている“芸術文化鑑賞会入場者数”は平成 25 年度の実績が 2,000 人、平成 27 年度の実績も 2,000 人となっているが、目標はだれが設定し、その結果をどう評価し、今後へ反映していくのか。

→ 各所管課で目標を定め、目標を持って取り組んでいる。しかしながら、目標値を達成することで事業の目的を達成できるわけではない。数値だけでなく、本質的に目的を達成しなければならないと考えている。

(委員) 85 ページに掲載されている“交番設置の要望”に“さがみ野駅前の交番設置の要望”が記載されているが、さがみ野駅は、座間市民、大和市民、綾瀬市民も利用する駅であり、乗降者数も多い駅であることから、犯罪の多い駅になっている。駅前に安全安心ステーションがあるが、交番を設置すべきである。強力に働きかけていただきたい。

→ 市としてもさがみ野の駅前に交番が必要であると強く思っている。毎年神奈川県警へも強く要望している。県警も必要であるという認識は示していただいているが、人員配置や交番の統廃合の必要性等様々な問題があり、実現に至っていないところであるが、今後も継続的に要望していく。

(委員) 28 ページに掲載されている“成年後見制度支援”に“成年後見等センターの設置の検討”が記載されているが、具体的な場所は決まっているのか。

→ 場所が決まったか否かについての情報はまだ得ていないが、所管課が今後具体的に検討していく。

(委員) 50 ページに保育園に対する助成が掲載されているが、保育園に預ける必要のない親への支援はどうなっているのか。

→ 来年度子ども・子育てについての新制度が施行されるが、現在でもファミリー・サポート・センターで、保育をする人としてほしい人のマッチングを行う等の取り組みも行っている。また、幼稚園等に入園する前に 1 人で子育てする人の不安を解消するために、子育てをしている親同志が交流できる場を設ける等サポート体制を整えている。

(委員) 39 ページに掲載されている“市民活動の推進”に“生涯学習ボランティアバンクの冊子の発行”の記載があるが、初めて作成されるのか。

→ 以前から作成している。何かやりたい生涯学習がある時、どのような人から教わることができるかを調べることで冊子になっている。他にどこに配架しているかは把握していないが、市内を中心に活動できる人が一覧になっているため、市民活動センターには配架しているかと思う。

(委員) “生涯学習ボランティアバンク”は市民大学の一環か。

→ 以前から取り組んでいるものであり、別の事業である。

- (委員) 129 ページに掲載されている“審議会、委員会への公募委員の参加率”について、目標を 30%にされているが、現在は何%か。
- 書面で回答させていただく。(平成 26 年度の結果を平成 27 年度に調査し算出するため、現在の最新データは平成 25 年度実績の 23%)
- (委員) 時代の変化が著しく、新しい国の施策が出てくる中、市の総合計画との整合性で齟齬が出ていることはないか。
- 今、国はめまぐるしく動いている。議会にもお願いし、地方創生の計画の策定のために補正予算をいただき、策定作業に向け動き始めた。前期基本計画の期間は 5 年間の実施計画をローリングする形で計画を策定していたが、後期基本計画の期間は単年度の計画として策定することで、時代の変化にも対応できるよう、進めている。基本計画にはまちづくりの目標が政策・施策として位置づけられており、政策・施策については不変で取り組むべきものとして設定しており、現在の政策・施策の範囲で各種事業に取り組むことができていることから、齟齬は特段出ていないと考えている。
- (委員) 現在、総合計画の策定が努力義務になっているが、今後の総合計画についてはどのような方向性で進めていくのか。
- 地方自治法の改正により、地方分権が叫ばれ、それまで義務であった総合計画の策定が地方の判断に委ねられることになった。現在は、第四次総合計画が進行中であり、平成 29 年度まではこのまま進行しようと考えているが、次期総合計画のあり方については、来年度以降、次期総合計画審議会委員と一緒に根本から議論していきたいと考えている。
- (委員) 22 ページに掲載されている“救急医療体制の充実”に“広域小児医療救急体制確保の取り組み”が記載されているが、海老名市内への小児医療救急体制の構築をどう考えているか。
- 座間・綾瀬・海老名・大和の 4 市で行っているのが現状。
- (委員) 63 ページに掲載されている“小学校施設の整備”に“有鹿小学校正門付近の改修工事”が記載されているが、どのような改修内容か。
- 有鹿小学校正門西側の見通しが悪いため、見通しを良くするための改修工事を行う。また、耐震性のない貯水槽が設置されているため、来年度新たな貯水槽を設置する予定である。
- (委員) 66 ページに掲載されている“学校給食費の公会計化”で“児童手当からの徴収の実施及びコンビニ収納の実施”が記載されているが、現在の口座振替による徴収はやめるといふことか。
- 給食費の滞納者が多くいることから、児童手当からの徴収を行うことで滞納を減らすことを考えている。児童手当から徴収するためには同意を得ることになるが、公平な徴収と滞納が少なくなるよう、新たに入学する生徒の保護者を対象に、まず試行的に実施することを考えている。
- (委員) 女性の社会進出が叫ばれているが、海老名市役所の女性の管理職はどの程度か。また、女性管理職の登用について、今後どう考えているのか。

→ 海老名市役所の管理職の女性登用割合は13.6%である。今後、女性の活躍が求められる。そのための体制づくりや意識を高めることも必要と考えている。

(委員) 女性職員の意識は如何か。

→ 個人で意識の違いはあるかと思うが、女性職員も一生懸命仕事に励んでおり、男女で差があるとは思っていない。

(委員) 73 ページに掲載されている“ロマンスカー海老名駅停車実現市民総力作戦”について、今年の秋にはららぽーとが開店し、マンションも建設され、都心に通う人も増えると思う。平成21年度には23万人の署名を集めた。海老名駅西口のまち開きを機にロマンスカーが停まることが期待されるが、状況はどの程度進行しているのか。

→ 平成21年度に集めた23万人分の署名を持って、小田急へ要望を行ったが、ロマンスカーを停車させるためには、ダイヤの改正や他の駅に停車している便の増減にも影響が出てくることもあり実現していないのが現状である。海老名駅西口がまち開きし、マンションが建つと、海老名駅利用者が増える。また、相鉄線も今後新横浜や渋谷へ直結し、利便性が高まり、顧客争いの観点からもロマンスカー停車の期待をしている。多くの署名をいただき、それだけ期待も大きいと思っている。継続して要望は続けていきたい。

(2) その他について

現在の総合計画審議会の委員の任期が今年度末までとなっている。基本計画策定の時期ではなかったため、年1回実施計画について報告させていただくのみの審議会だったが、2年間ご協力いただき、お礼申し上げます。現在、次期総合計画審議会委員の検討を行っており、追って各種団体へ推薦をお願いすることになるかと思うが、今後とも海老名市のまちづくりにご尽力を賜りますよう、お願いしたい。

3 閉 会

以 上